

New Calibrated Downhaul System

1983 年以來、30 年以上独自の哲学とセイルデザイン理論で、“Ezzy Magic”と言われるような独特の風の世界感を堪能させてくれるセイルを作り続けているセイルデザイナー・David Ezzy は、現在も全く変わらぬ情熱と姿勢で、Hookipa や Kanah ビーチで、風が吹けば毎日黙々とセーリングし、誰もが心地よく風に乗るための完璧なる『翼』デザインを追及し続けている。そしてビーチで Ezzy Sail を見つけると、それが誰のセイルであろうとセッティングが誤っていれば、勝手にセッティングを適正にチューニングし直すといった光景を目にした方も少なくないと思う。David Ezzy は徹底的に、誰にでも“Happy Sailing”を満喫してもらいたいと本気で考え、実行している人なのだ。

ストレスのないプレーニングを満喫するには適切なセイルチューニングが重要なポイントである。特に Ezzy Sail は、適正なセイルチューニングによって“Happy Sailing”を味わえるか否かが決まると言っても過言ではない。ここでは、Ezzy Sail が採用した新しいダウンホールゲージ装備について触れたい。

David Ezzy は、風の強弱に応じた正確なダウンテンションをかけるために、まったく新しいチューニング方法(Calibrated Downhaul System)を採用した。

今まではリーチ上部にプリントされていたリーチゲージを目安としてダウンテンションをチューニングしていたが、リーチのたるみ具合の曖昧さに戸惑うことも多かった。

Calibrated Downhaul System では、【写真1】のようにマストのボトムラインに目盛をセットすることで、それぞれのセイルの正確なダウンテンションを見つけることができる。

Ezzy Sail では、ハンドメイドで仕上がったすべての製品（プロダクションセイル）が、工場から出荷される前に、必ず一度マストを通し、一枚一枚セッティングし、検品合格したセイルだけを出荷するという徹底した品質管理を行っている。

この時、ダウンテンションにかかる負荷を測定する精密機械【写真2】を使用し、それぞれのセイルサイズにおけるそれぞれのダウンテンション負荷同一数値でタックにペンでマークし、それぞれのセイルサイズのダウンテンションの負荷が一樣にかけられるように考案された非常に優秀なユーザーフレンドリー装備なのだ。この装備を利用すれば、確実に Ezzy Sail の適正なダウンホールテンションをかけることができるとともに、間違いなく“Happy Sailing & Ezzy Magic”を味わうことができるだろう。

ただし、この方法はどのマストエクステンションでも利用できるが、マストは『Ezzy RDM mast』が基準となっている。他社ブランドのマストでセッティングする場合の留意点として、Panther Elite の場合は、“別資料 Rigging Guide 4”

http://www.ezzy-japan.com/ezzy/wp-content/uploads/2013_P-anther_Elite_RiggingGuide翻訳B.pdf

をご覧ください。Tiger / Cheetah の場合は、リーチゲージを目安にダウンテンションをかけ、何度かセーリングし、最も心地よく走れるテンションを導き出していきたい。そして適正なセッティングを見つけたら、タックベルトに標準装備されたゲージ（メジャー）でマストのボトムからタックプーリーのボトムまでの距離を測り、次のセッティングではこの計測値でマストエクステンションの長さを決定できることになる。この時、同時にマストのボトムラインの延長線上のタックに新たにマークをつけ、ベルクロをはがしてあなた自身のオリジナルのマークにゲージを装着すれば、（他社）マストにおいても本ゲージを有効に利用することができるだろう。

